

# ブロッコリー

## 栽培のポイント

### ①排水対策の徹底

ブロッコリーの根は湿害に弱いので、水はけの良い場所を選びましょう。谷間に水がたまれば溝を掘るなどして、排水管理を徹底しましょう。

### ②害虫に注意

ヨトウムシ・オオタバコガの幼虫などが発生すると花蕾の奥に入り込むので、多発する前の早い段階で、アファーム乳剤などを散布しましょう。

### ③追肥をしましょう

追肥は3~4回します。そうすることで、中心部の大きな頂花蕾を収穫した後、さらに葉のつけ根から伸びる小さな側花蕾をとり続けることができます。寒さに強いので、霜が降りるようになってからも側花蕾は収穫できます。



品種例  
「ハイツSP」  
「ピクセル」など

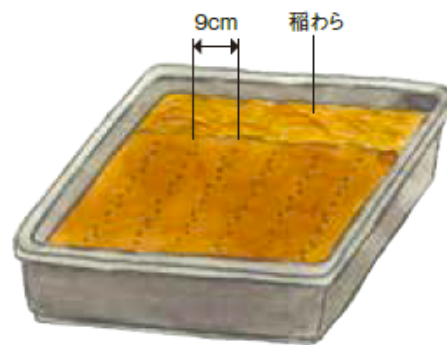
## 栽培カレンダー



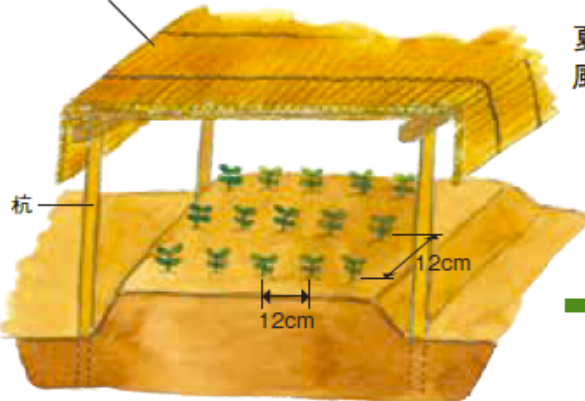
## 1 畑の準備

### [苗床で育成する場合]

葉が出てきたら重なり合わないよう順次間引いていき、本葉1~2枚のころベッドへ移植する



よしずまたは黒寒冷紗



夏の日差しを防ぎ、風通しをよくする



本葉5~6枚で畑に植える

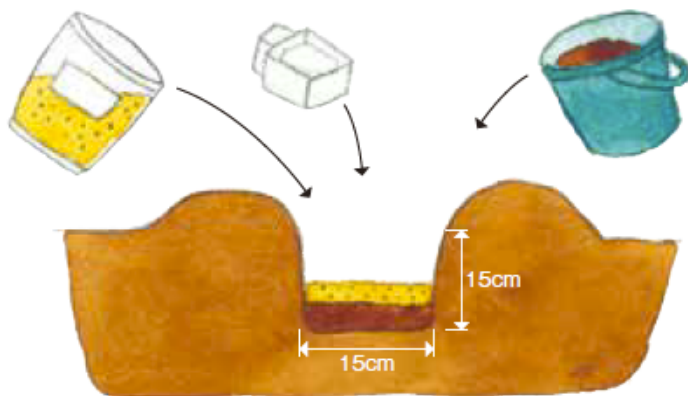


### [セル成型育苗の場合]

128穴のセルトレイに1穴2~3粒まき、発芽そろいしたら間引いて育ちの良いもの1株にする。本葉3枚くらいで畑に植える

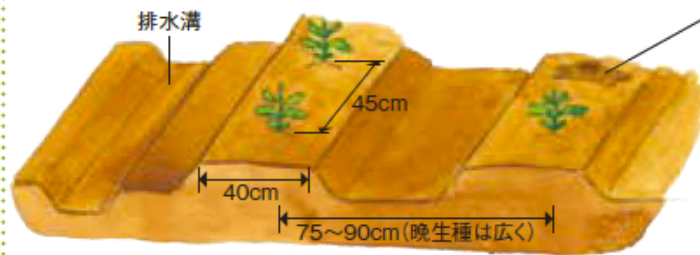
## 2 元肥入れ

溝の長さ1mあたり  
油粕: 大さじ5杯  
化成肥料: 大さじ3杯  
堆肥: 7~8握り



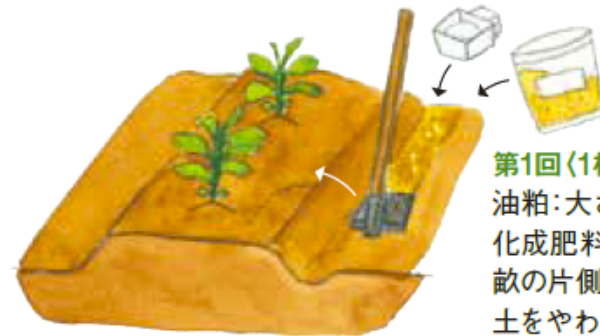
## 3 植えつけ

秋雨期を迎える作型では、畑の周囲の排水に注意



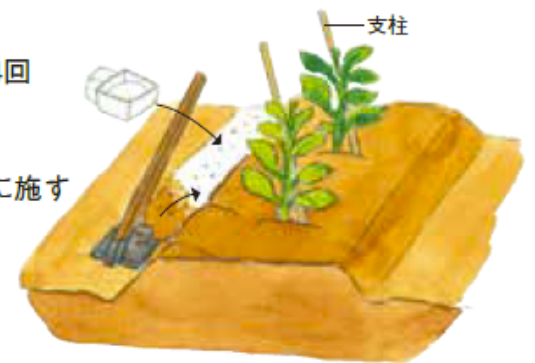
深植えは禁物  
株元が少し高くなるように

## 4 追肥・中耕



第1回(1株当たり)  
油粕: 大さじ1杯  
化成肥料: 大さじ1/2杯  
畝の片側に軽く溝を掘って施す。土をやわらげながら畝に寄せる

第2回以降  
20~30日ごとに3~4回  
(1株当たり)  
化成肥料: 大さじ1杯  
前回と反対側に同様に施す



倒れやすい時期には支柱を立てる

## 5 収穫

頂花蕾を包丁で切り取る。株のまわりに追肥して勢いをつけ、よい側花蕾を出させる。側花蕾は小さいが味に遜色はないので、手やはさみで摘み取る。



サラダやスープなど、さまざまな料理に使える人気の高い野菜です。ぜひ、作ってみてください。

姫路西部営農生活センター  
森谷 俊章

キリトリ線に沿ってお切りください